

『年金手続きの手引』

# 改訂版発行に寄せて

著者 山本日出男

## 事務所での年金相談の経験を生かし、本を執筆

このたび『年金手続きの手引』を改訂することになりました。この本を書いたきっかけは、兵庫県社会保険労務士会から平成18年4月から19年3月までの1年間、社会保険事務所の窓口での年金相談・手続き業務のお話を頂いたのが始まりです。

出勤した初日に所長さんと面談したとき、「年金受給者の状況で選択肢がいくつか出来ます、それを丁寧に説明してください」というお話が心に残っています。そして職員の方に指導を受けながら手続き業務を覚えていきました。窓口に来られる方の相談内容、手続きの内容はいろいろです。年金の制度や内容についてほとんどの方が解っておられないと感じました。1年が経ち、業務継続のお話を頂きましたが辞退し、私は年金の制度や内容を皆様に広める係り

になろうと決めました。

年金の内容は、本当に複雑です。でも、窓口に来られる方の目的は難しい年金制度を覚える事ではないのです。自分の年金がいつからどのような形で受取れるのか、それが知りたいのです。本で年金の制度を簡単に説明したい、その方法は事例集と決め、考えられるパターンを44例作成し、併せて手続きに必要なものを載せ、その中に出てくる年金用語の説明を第1章に収録しました。初版刊行は平成20年2月です。

### 改訂にあたって

### わかりやすい図を挿入

今回の改訂版ではより解りやすくするため、受け取れる年金が時系列に解るよう事例ごとに図を描きました。年金は夫婦二人で受け取る場合は、配偶者加給年金、振替加算などが関係する制度です。事例を読んで図を見ていただければ解る仕組みにな

っています。

本書は社会保険労務士、お仕事で年金業務に関わられる方、自分の年金について知りたい方に見ていただきたいです。私自身、年金制度はよい制度だと思えます。年金制度を解りやすく説明して広める目的が達成できることを願っております。



改訂

## 年金手続きの手引

特定社会保険労務士 山本 日出男 著

- 第1章 年金相談に使われる用語の解説
  - 第2章 年金相談の事例集
  - 第3章 こんなときどうするの  
～必要な手続きと届出用紙の書き方のポイント～
- 44の事例と29の届出用紙の書き方見本を掲載し、年金手続きをわかりやすく解説した手引書の改訂版。事例集に図が加わりさらにわかりやすくなりました。

B5判 本文279頁 定価2100円（本体2000円+税）  
ISBN978-4-901354-47-9

# 旧法公的年金の解説

付法改正経過

B5判 192頁 定価2100円（本体+税）  
ISBN978-4-901354-41-7

従来、年金の支払を受ける権利は、権利発生から5年で消滅していましたが、いわゆる「宙に浮いた年金」問題などによって「年金時効特例法」が施行され、未統合の記録があった場合に限って支払時効がなくなりました。しかし、古い年金制度（特に、昭和61年4月1日改正前の公的年金制度＝「旧法年金」）に関する解説書が少ないため、年金相談の現場などで少なからず混乱がありました。本書は、こうした事態に対処できるよう、昭和61年4月1日改正直前の制度を詳しく解説しています。また、制度発足からの主な改正経過を収録していますので、資料的価値が高いものとなっています。

